

令和3年度小田原市市民活動応援補助金交付事業一覧

<スタートアップコース>(上限10万円)

No	事業名	団体名	事業概要	交付額(円)
1	フリースクールのようなサードプレイス事業	みんなのよりどころわりん	学校へ行かない選択をした子ども達、または学校と家以外に居場所を求めている子ども達、とその家族が安心して過ごすことが出来る居場所作りの活動。 また、当事者同士の交流を持つことで、悩みごとの相談や情報の提供、子ども同士の交流を目的とし、無理なく自分らしく生きて行く為の居場所を提供する。 ①保護者のおしゃべり会(月1回) ②コミュニケーション能力向上ワークショップ(年2回)	100,000
2	小田原寺子屋スクール2の授業開催	小田原寺子屋スクール2	青少年を主とした一般市民を対象に、健全な青少年の育成や社会教育の推進に寄与することを目的とし、人生を送る上で必要な心構えを学ぶ事業「小田原寺子屋スクール2の授業開催事業」を行う。 おだわら市民交流センターUMECOにおいて、事前説明会及び4回の授業を開催する。	100,000
3	清掃美化事業	学生ボランティアグループ「S.P.A.C.E」	学生を中心に、美化清掃活動の事業を行う。 ①おだわら清掃プロジェクト(年4回) ②国府津海岸清掃(年1回) ③UMECO事業への協力 ④他団体との協働 ⑤その他(SDGs講演会)	100,000

<ステップアップコース プランA>(事業費の70% 上限20万円)

No	事業名	団体名	事業概要	交付額(円)
4	鉄道をテーマにした市民参加型行事の開催	小田原鉄道歴史研究会	市民および観光客に『鉄道のまち小田原』をPRし、興味・関心を持ってもらい“新しいまちづくり”のお手伝いを行う。 1. 講演会、工作教室、朗読会、ハイキングを実施 2. 会出版の『小田原鉄道史』にて鉄道の歴史を解説 3. 定期開催の鉄道資料展にて写真・資料等を展示 従前から実施してきた行事と、新たに市民参加型行事を実施し、多くの市民に参加いただき、『鉄道』への意識高揚を図る。 また、各事業の実施にあたり、他の市民活動団体と協力・協調し、より大きな「市民力」を創りあげていく。	100,000
5	バリアフリーおだわらフォーラム事業	バリアフリーネットワークおだわら	「バリアフリーのまち小田原」を推進することを目的に、市民、学校、企業等のあらゆる分野の人々に呼びかけ、市民フォーラムを開催する。これにより、市民の共生社会への関心を高めバリアフリーのまちづくりをすすめる地域力を高める。 フォーラムは、8月中旬にUMECO において開催し、防災と福祉をテーマに講演及び障害平等研修を実施する。	120,000
6	心地よい森づくりと間伐材の利活用	(おだわら)森のなかま	「間伐材を活用して、自分のベンチを作ることから、多くの人に心地よく座れるベンチ作りの楽しさを知ってもらおう」を合言葉に、間伐材の利活用をする。年2回ぐらいのベンチ作りイベントを通して間伐材のベンチを利用したベンチの心地よさを広めていく。そのことを通して、森林の持続的な手入れの大切さや森の多面的な機能についても伝えていく。年間を通して、森林の手入れを行っていく。	100,000
7	ニホンジカ調査と西洋芝による誘引試験	特定非営利活動法人小田原山盛の会	箱根山地では近年ニホンジカ生息密度の急上昇がおり、山地の下層植生劣化、農林業被害を引き起こしている。シカ専門家に調査をご指導いただき、シカによる林業被害・植生劣化・採食植物を調査し、対策強化に向けた情報収集を行う。 また誘引効果があると報道されたケンタッキーブルーグラス等による誘引試験を行い、効率的な捕獲手法を検討する。 里山の耕作放棄地が第二のホットスポットとなっている。早川にて耕作放棄地、農地にカメラを設置し、生活痕跡調査や聞き取り調査を行い、生息状況を調べる。早川についてはイノシシも含む。	147,000
8	わかがえるフェスタ	わかがえるフェスタ	民生委員、医療介護、保育、美容従事者達で地域の皆様に必要、為になる情報を発信し尚且つ楽しく皆さんにレクチャー。高齢者～子どもまで、全ての方に必要な情報を直接、皆さんに発信し、顔の見える関係性も構築し、地域の活性化に貢献するとともに、必要な相談支援に繋げる事業。 年3回を目標に、いそしぎ・マロニエ・公民館(予定)において、専門分野(医療・介護・美容・保育・家計事・終活等)の講師による講演や会のメンバーによるパフォーマンス・情報発信等を行う。	200,000
9	小田原子育て情報サイトのママ編集部継続事業	小田原子育て支援ポータルサイト「びんたっこ」運営協議会	・令和2年度に引き続き、子育て中の母親に「小田原子育て情報ポータルサイトびんたっこ」に掲載する記事の取材及び更新の作業を依頼し、子育て中の悩みの解決やお役立ち情報を現役ママの目線で記事にして掲載する。 ・子育てに関わる【学び】の情報に特化した内容を充実させる。 ・母親や父親を対象にして子育てに関する“学び”の機会として、講演会(講師を招待)を年に1回開催する。	100,000
10	非常事態でも孤立しない地域の居場所作り	おだわら児童館連合会	感染症の蔓延等非常事態が起きた時でも、誰もが孤立しないで済むような繋がりを作れる場所作りを行っていく。その中には青少年育成や、子育て支援等も含む。 ①多世代交流の居場所づくり(月1回) ②わいわい食堂(年2回) ③青空わいわい食堂(年2回) ④フードパントリー(月1回) ⑤町歩き(2か月に1回)	160,000

<ステップアップコース プランB>(事業費の50% 上限30万円)

No	事業名	団体名	事業概要	交付額(円)
11	根府川関所跡石碑建立及び白糸川上流等の整備事業	ねぶ川、里山を守る会	根府川の自然・歴史・文化を維持継承し、市内外問わず多くの方が区内を周遊し楽しめる環境をつくり、市民の健康増進及び観光の振興を図るために、以下の4事業を継続的に行う。 ①根府川関所跡石碑の建立 ②白糸川上流の溪流・滝群への経路の整備 ③根府川城址の保全活動 ④大洞(関東大震災時に山体崩壊した山)付近の経路の整備	300,000